

受付番号		受付日	20 年 月 日	決定日	20 年 月 日	決定	
------	--	-----	----------	-----	----------	----	--

一般社団法人日本プライマリ・ケア連合学会認定（試行事業）
試行事業病院総合医養成プログラム 年次報告書

2014年7月31日

一般社団法人日本プライマリ・ケア連合学会
 理事長 殿

以下に記載した内容で、貴学会の試行事業における病院総合医養成プログラムとして認定を更新していただけますよう申請いたします。

プログラム責任者署名（白署）

1. プログラム名称			
安房総合医プログラム			
2. プログラム責任者			
プログラム責任者氏名	吉田真徳	学会会員番号	
所属・役職	総合診療科 医員		
所在地・連絡先	〒294-0014 千葉県館山市山本1155 電話 0470-25-5111 FAX 0470-25-5110 E-mail masanoriyoshida7@gmail.com		
連絡担当者氏名*・役職	*プログラム責任者と別に連絡担当者がある場合のみ記載		
連絡先	電話	FAX	
	E-mail		
3. 最近1年間のプログラムの概要			
<ul style="list-style-type: none"> ・研修者の感想や、アピールポイントをお書きください ・2013年度は本プログラムでは採用ありませんでした。 ・2014年度2名の採用あり、来年度よりご報告をさせて頂きたく存じます 			

受付番号		受付日	20 年 月 日	決定日	20 年 月 日	決定	
------	--	-----	----------	-----	----------	----	--

4. 過去2年間の実績							
2014 年度	新規研修開始者数		2名				
	研修修了者数		0名				
20 年度	新規研修開始者数		名				
	研修修了者数		名				
5. 現在のプログラム研修者該当者数（研修休止中の者を含む）							
1年目	2名	2年目	名	3年目	名	4年目	名
6. プログラムにおける指導医 主たる施設における指導医以外の、関連病院の指導医は氏名の下に施設名を記載							
氏名	卒業年	専門分野・資格			専門分野・資格		
西野洋	1978年	内科			神経内科		
		内科認定医					
不動寺純明	1991年	救急科					
		救急専門医／指導医					
野田剛	2007年	救急科					
曾木美佐	2003年	内科			感染症科		
		内科認定医					
木村武司	2007年	小児科			総合診療科		
					プライマリケア認定医		
相田雅司	2007年	小児科			総合診療科		
		小児科専門医			プライマリケア認定医		
八重樫牧人 亀田総合病院	1997年	総合内科					
		総合内科専門医					
岡田唯男 亀田ファミリークリニック館山	1995年	家庭医診療科					
7. 施設・診療科診療実績概要							
病床数	149床（内総合診療部門定床			70床）			
総合診療部門外来患者実績	初診	約	250人/月	再診	約	750人/月	
総合診療部門入院患者実績	平均	約	110人/月				

受付番号		受付日	20 年 月 日	決定日	20 年 月 日	決定	
------	--	-----	----------	-----	----------	----	--

8. 診療実績 研修者 1人平均経験症例		
以下後期研修医について不在のため、具体的な症例数は現時点では下記症例数は不明です。		
本年度よりご報告申し上げます。		
急性期一般病床入院	約	症例
集中治療室（ICU）・HCU 入院症例	約	症例
外来継続診療症例	約	症例
看取り症例	約	症例
委員会活動実践事例	約	症例
教育実践事例	約	症例
研究実践事例	約	症例
9. 診療実績 研修者一人平均経験症例 領域別		
症例数不明の場合は、おおよその割合を記載してください		
研修領域	症例数もしくは割合	主な疾患名
心疾患系	約 症例	
	約 %	
呼吸器系	約 症例	
	約 %	
消化器系	約 症例	
	約 %	
代謝内分泌・血管系	約 症例	
	約 %	
神経系	約 症例	
	約 %	
腎泌尿器科系	約 症例	
	約 %	
リウマチ性・筋骨格系	約 症例	
	約 %	
皮膚	約 症例	
	約 %	
耳鼻咽喉科	約 症例	
	約 %	
その他	約 症例	
	約 %	

受付番号		受付日	20 年 月 日	決定日	20 年 月 日	決定	
------	--	-----	----------	-----	----------	----	--

10. 研修者の評価方法（研修修了認定の方法も含めて、具体的に）

●各科研修開始時：

研修目標の作成；定型の用紙を用いて。指導医とローテート期間中の研修目標を作成する

●各科研修期間中：中間評価

各ローテート先の指導医と以下の項目を評価する。

- ・ 定型の用紙を利用して評価を行う；経験した内容／議論・自己学習した内容／印象に残った出来事
- ・ 経験した症例一覧チェック
- ・ Significant event analysis (SEA) → その後ポートフォリオとして考察を深めるべき症例確保

●各科研修終了時：最終評価

ローテート終了時に評価を行い現時点での到達度を確認し、次のローテート先での研修先につなげる情報とする。以下を評価

- ・ 研修評価：所定の用紙を用いて行う。
- ・ スタッフからの評価；360度評価を実施。
- ・ ポートフォリオ；SEAをたたき台として、内省的実践の方法を検討・発表

経験した症例一覧チェック：今後、経験すべき症例の抽出

11. プログラムの質の向上・維持の方法

- ・ 月1回スタッフミーティングを実施しスタッフ間での後期研修医の研修状況を経時的に情報を共有。
- ・ 定期的な発表（ポートフォリオ・SEA）や振り返りをもとに、改善点についての議論を行い適宜研修環境等の調整を行っていく。

その他、お気づきの点やご意見等ありましたら下記にお書きください